

=プレスリリース=

平成 26 年 5 月 26 日

岩手県内新入社員の職業観と生活観 —平成 26 年新入社員意識調査より—

標記について概要を取りまとめましたので公表いたします。
なお、詳細は機関誌「岩手経済研究」26 年 6 月号に掲載予定です。

<調査要領>

1. 調査時期 平成 26 年 3~4 月
2. 調査対象 岩手県内事業所に勤務（予定含む）する新入社員等
3. 調査方法 当研究所主催の新入社員研修会等における無記名アンケート方式
4. 回答者数 合計 230 人

最終学歴

	高校	専門学校	短大	大学	大学院	無回答	総計
男性	41	27	7	52	1	2	130
女性	45	13	15	27	0	0	100

出身地

	県央	県南	沿岸	県北	県外	総計
男性	68	25	15	4	18	130
女性	52	20	14	6	8	100

盛岡市中ノ橋通一丁目 2 番 16 号
一般財団法人 岩手経済研究所
理事長 高橋真裕
経営相談部（担当 佐藤）
TEL 019 - 622 - 1212

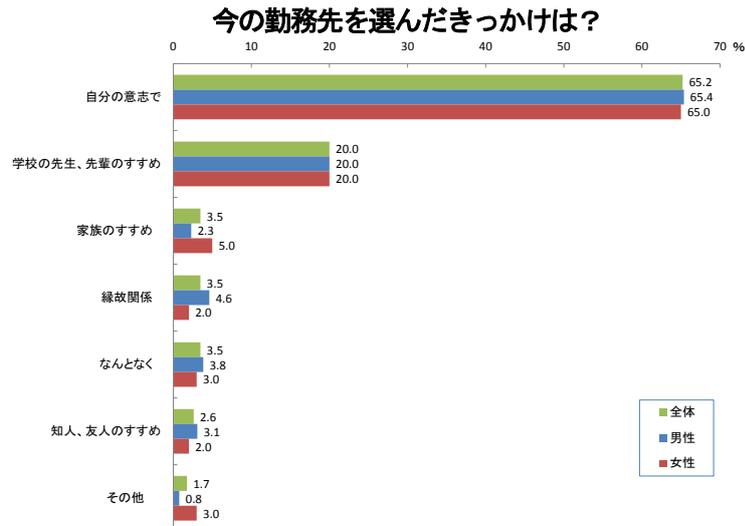
＜調査結果の要約＞

1. 職業観

＜勤務先選択のきっかけ＞

○6割超が「自分の意志で」

勤務先を選んだきっかけは、「自分の意志で」が65.2%（前年比3.5ポイント減）と最も高く、「学校の先生、先輩のすすめ」20.0%（同2.2ポイント増）と続き、上位2項目で全体の85%を占めた。勤務先を自分の意志で決める人の割合は男女とも6割を超え、上位の回答に男女差はほとんどみられなかった。

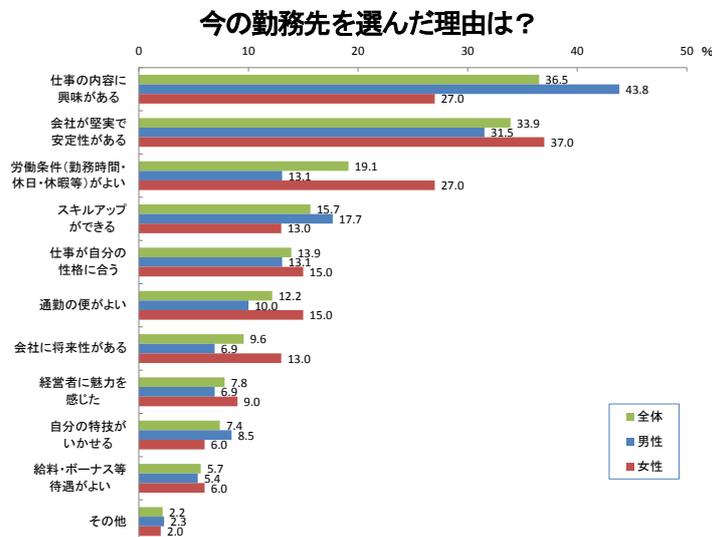


＜勤務先選択の理由＞

○仕事の内容と堅実性、安定性を重視

今の勤務先を選んだ理由（2つ以内の複数回答）は、「仕事の内容に興味がある」が36.5%（前年比2.1ポイント減）、以下、「会社が堅実で安定性がある」33.9%（同0.3ポイント増）、「労働条件（勤務時間・休日・休暇等）がよい」19.1%（同7.9ポイント増）、「スキルアップができる」15.7%（同8.8ポイント減）の順となった。

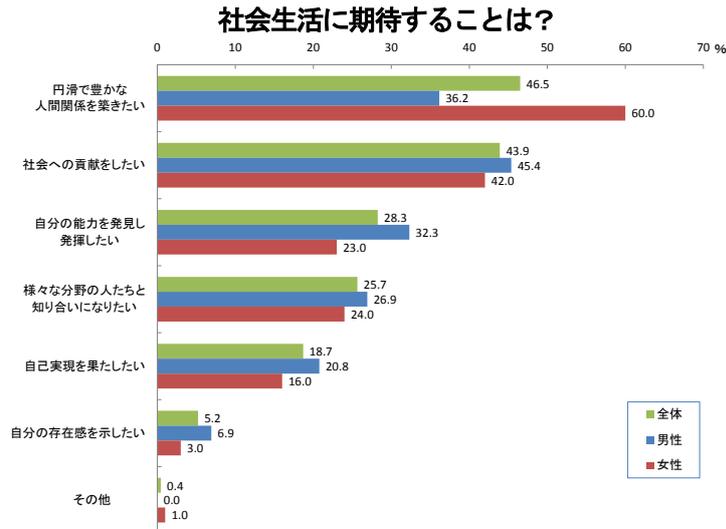
前年同様、会社の堅実性、安定性を重視しながらも興味がある仕事に就きたいという志向が強いことがうかがわれる。



<社会生活に期待すること>

○豊かな人間関係と社会への貢献を期待

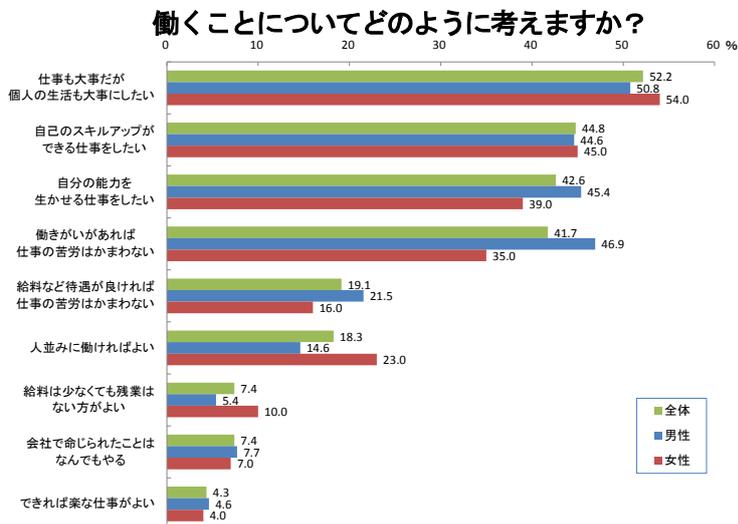
社会生活に期待すること（2つ以内の複数回答）は、「円滑で豊かな人間関係を築きたい」が46.5%（前年比4.1ポイント増）と最も高く、次いで「社会へ貢献したい」が43.9%（同4.4ポイント増）、「自分の能力を発見し発揮したい」28.3%（同1.0ポイント減）の順となった。前年から順位に変動はないものの、女性は「円滑で豊かな人間関係を築きたい」が60.0%（同13.6ポイント増）、男性は「社会へ貢献したい」が45.4%（同10.7ポイント増）とそれぞれ前年から大きく上昇した。



<働くことについての考え方>

○仕事と私生活のバランスとスキルアップ

働くことに対する考え方（3つ以内の複数回答）については、「仕事も大事だが個人の生活も大事にしたい」が52.2%（前年比4.6ポイント増）、以下「自己のスキルアップができる仕事をしたい」が44.8%（同2.3ポイント減）、「自分の能力を生かせる仕事をしたい」が42.6%（同2.1ポイント増）となった。前年の調査では「スキルアップができる」、「自分の能力を生かせる」と回答した女性の割合が男性を大きく上回っていたが、今年の調査では「スキルアップができる」は男女でほぼ同率となり、「自分の能力を生かせる」については男性が女性を上回る結果となった。



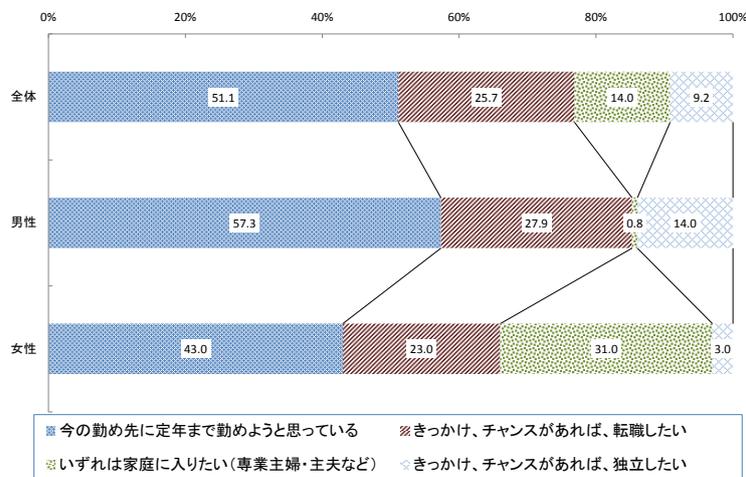
<定年まで今の勤務先で働くか>

○半数が今の勤務先で定年まで働きたい

定年まで今の勤務先で働きたいと考えるかについては、「今の勤務先に定年まで勤めようと思っている」が51.1%と半数を占め、以下「きっかけ、チャンスがあれば、転職したい」25.7%、「いずれは家庭に入りたい（専業主婦・主夫など）」14.0%、「きっかけ、チャンスがあれば、独立したい」9.2%となった。

男女別では、男性は定年まで勤めたいという割合が高く、長期安定雇用を望む傾向がみられる。一方で女性は、「いずれは家庭に入りたい」が31.0%（前年比6.9ポイント増）と前年を上回り、家庭志向の高まりがうかがわれる。

定年まで今の勤務先で働きますか？



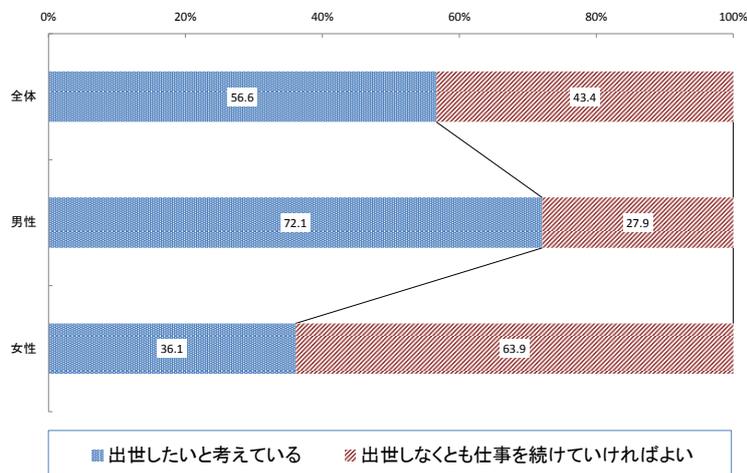
<出世したいと考えるか>

○「出世したい」割合が上昇

全体では56.6%（前年比3.6ポイント増）が「出世したいと考えている」と回答し、「出世しなくとも仕事を続けていければよい」を上回る結果となった（図表6）。

「出世したい」は、男性が72.1%と4.6ポイント減少したのに対し、女性は36.1%と4.0ポイント増加し、女性の出世に対する意欲の向上が若干見受けられる。

出世したいと考えていますか？

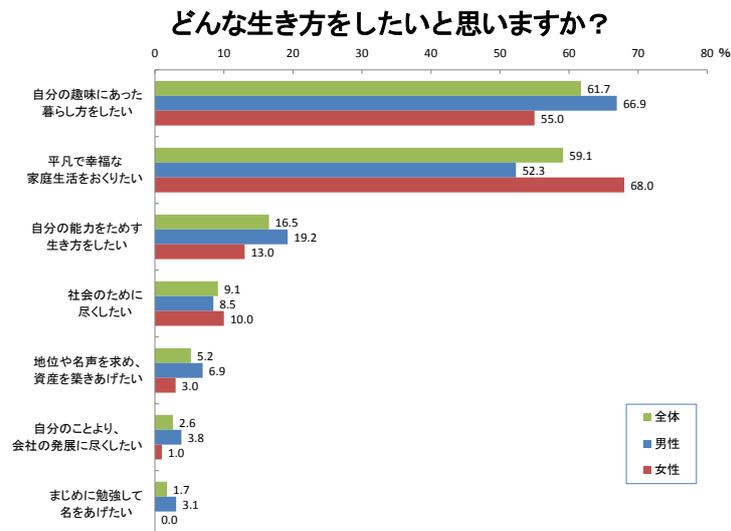


2. 生活観

<理想とする生き方>

○「趣味にあった暮らし方」と「幸福な家庭」

「理想の生き方」に対する考え方（2つ以内の複数回答）については、「自分の趣味にあった暮らし方をしたい」が61.7%（前年比6.9ポイント増）となり、「平凡で幸福な家庭生活を送りたい」の59.1%（同0.1ポイント増）を僅かに上回り、平成17年の調査以来9年ぶりに1位となった。男性は8.2ポイント、女性は3.7ポイントとともに上昇し、より自分らしいライフスタイルを実現したいという考えが強まっていることがうかがわれる。

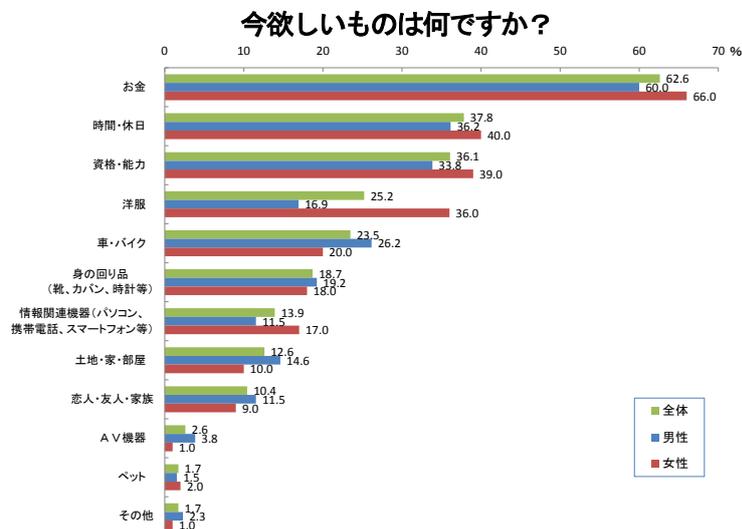


<今欲しいもの>

○「お金」「時間・休日」「資格・能力」が上位

今欲しいもの（3つ以内の複数回答）は、1位「お金」、2位「時間・休日」、3位「資格・能力」となり、上位7項目までは昨年からの順位の変動はみられなかった。

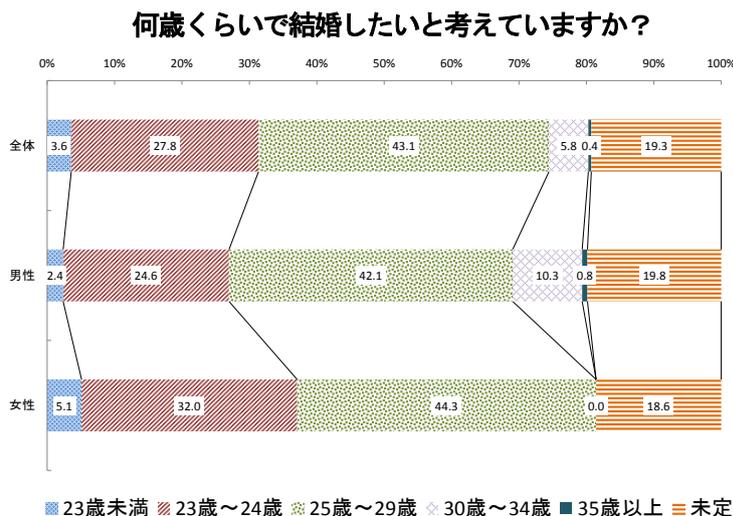
3位の「資格・能力」は、男性が前年から8.0ポイント減少した一方、女性は12.7ポイント増加し、女性が男性を上回る結果となった。



<結婚について>

○「30歳までに結婚」が減少

「何歳ぐらいで結婚したいか」という問いに対し、「25歳～29歳」が43・1%（前年比5.8ポイント減）と最も高く、「23歳～24歳」が27.8%（同1.7ポイント増）、23歳未満が3.6%（同2.4ポイント減）となり、全体の74.5%が30歳になる前に結婚したいと考えている。「30歳前に結婚したい」割合は、震災後の過去3回の調査では8割を超えていたが、今回調査で8割を下回り、震災後の結婚希望年齢の若年化傾向に変化がみられる。



まとめ

今年の調査結果から、今年の新入社員は働くことに対して、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を重視しつつ、仕事を通じてスキルアップを図り、自分の能力を生かしたいという前向きな姿勢を持っていることがわかる。特に男性にその傾向が強く、仕事に対して働きがいを求めている点が特徴である。一方、女性は出世に対する意欲の向上がみられるものの、いずれ家庭に入りたいと考える人も多く、家庭生活を重視する傾向がみられる。企業においては、目標や待遇面など明確な動機付けを行い、仕事と家庭の両立に配慮した働きやすい職場環境の整備、提供が求められている。

以上